

【文学部 学部間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 10 月 1 日
所属	文学科/文芸メディア専攻(学科/専攻)
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 11 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 4 月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ
留学先大学	バンベルク大学(日本語名) Otto Friedrich Universität Bamberg(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語 /ドイツ語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	1 年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):人文学・文化学部 (現地言語での名称):Fakultät Geistes und Kulturwissenschaften <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:10 月上旬～2 月下旬 2 学期:4 月中旬～7 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (€)	日本円	備考
授業料	0	0 円	semester fee (学期手数料) が各学期 118.60 ユーロかかる。
宿舍費	3,600	576,000 円	
食費	2,400	384,000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	660	105,600 円	
現地交通費	0	0 円	(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1,320	211,200 円	形態: TK
渡航旅費		300,000 円	
ビザ申請費	75	12,000 円	
雑費	1,500	240,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	約 10,000€	約 1,900,000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田空港 目的地: フランクフルト空港 経由地: なし	
復路 出発地: フランクフルト空港 目的地: 成田空港 経由地: なし	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 30 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL のホームページ) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Judenstraße 8)	<input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
バンベルク大学に見つけてもらった	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
中世ドイツらしい旧市街の雰囲気存分に味わえるし、治安も十分いい。 古い建物だからか、たまにヒーターがつかなくなったりする。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
特になし	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮内のインターネットの接続は問題がなかった。 キャンパス内では大学用の Wi-Fi を使わないと接続が悪い。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
あらかじめ開設しておいた Expatrio の銀行口座を使った。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
特になし	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 4 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch als Fremdsprache: Sprachpraxis B2: Leseverstehen 3	外国語としてのドイツ語:言語練習 B2:読解 3
科目設置学部・研究科	Sprachzentrum(言語センター)
履修期間	冬学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 13 回
担当教授	Helena Diekgerdes
授業内容	ドイツ語で書かれた新聞記事やネット記事を読み、受講生同士でディスカッションをする。
試験・課題など	小試験が 4 回
感想を自由記入	他の国から来ている留学生の意見をディスカッションを通じて聞くことができるので、多角的にドイツの文化や政治などについて学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch als Fremdsprache: Sprachpraxis B2: Hörverstehen 3	外国語としてのドイツ語:言語演習 B2:聴解 3
科目設置学部・研究科	Sprachzentrum(言語センター)
履修期間	冬学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 14 回
担当教授	Sita Narayan-Schürger
授業内容	ドイツ語のリスニング
試験・課題など	期末試験が 1 回
感想を自由記入	語彙力が鍛えられた気がする。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch als Fremdsprache: Sprachpraxis B2: Kreatives Schreiben und Freies Sprechen 3	外国語としてのドイツ語:言語練習 B2:クリエイティブライティングとフリースピーキング 3
科目設置学部・研究科	Sprachzentrum(言語センター)
履修期間	冬学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 15 回
担当教授	Armin Gertz
授業内容	ドイツ語で(短い)物語を書く方法を学ぶ。
試験・課題など	大きな試験が 2 回
感想を自由記入	ドイツ語のアウトプット、文法の確認ができるだけでなく、物語をドイツ語で書き上げるという経験ができて満足。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
deutsch als Fremdsprache: Sprachpraxis C1: Deutsch und Deutschland im Spiegel der neuen Medien	外国語としてのドイツ語:言語実践 C1:ニューメディアに映し出されるドイツ語とドイツ
科目設置学部・研究科	Sprachzentrum(言語センター)
履修期間	夏学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 11 回
担当教授	Oliver Geike
授業内容	ドイツのメディア(主に SNS や AI)とドイツの国民がそれに対してどう向き合っているかを学び、議論する。
試験・課題など	プレゼンが 1 回
感想を自由記入	受講者数も少なく、発言のしやすい環境だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Bildtheorien, Philosophie der Photographie	写真理論、写真の哲学
科目設置学部・研究科	Institut für Klassische Philologie und Philosophie(哲学科)
履修期間	夏学期間
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回

担当教授	Lars Hartmann
授業内容	ロラン・バルトの『明るい部屋』やヴァルター・ベンヤミンの『複製技術時代の芸術』などの写真に関係する哲学の文献を読み進めながら、受講生たちとディスカッションをする。
試験・課題など	プレゼンまたはレポート提出(選択式)
感想を自由記入	※授業時間数は1回3時間が2週間に1回 現地の学生の熱量がすごかった。写真という媒体が持つ意味について深く考えさせられた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Greifbare Fantasia: Animationsfilm im interkulturellen Kontext		異文化間の文脈におけるアニメーション映画
科目設置学部・研究科	Literatur und Medien(文学とメディア科)	
履修期間	夏学期間	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が11回	
担当教授	Francesca Pistocchi	
授業内容	世界各国のアニメ映画の歴史や技術について学ぶ。	
試験・課題など	現地学生は口頭試験。留学生はレポート提出。	
感想を自由記入	先生がイタリア人で母語がドイツ語でないためか、ゆっくりとした速度のドイツ語を話していたので、聞き取りやすく内容も理解しやすかった。最後の授業では日本のアニメ映画『パプリカ』を通してアニメとは何か、ということについて議論できて楽しかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Propädeutikum Architektur		建築入門
科目設置学部・研究科	Kunstgeschichte(美術史科)	
履修期間	夏学期間	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が12回	
担当教授	Anna Chiara Knoblauch	
授業内容	バンベルクの建築物などを通して、教会などの建築の仕組みを学ぶ。	
試験・課題など	期末試験が1回	
感想を自由記入	主に専門用語を学ぶのがメインのようだった。フィールドワークのような形で、実際にバンベルク大聖堂などの歴史ある建物に行き建物の隅々まで観察してどのようなつくりか、説明をするのが大変だった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
リクルート
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	
留学開始年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	渡独
	10 月 ~ 12 月	ビザ申請・取得
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	2 月に最終試験
	4 月 ~ 7 月	7 月に最終試験
	8 月 ~ 9 月	帰国
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

第二外国語で勉強したドイツ語をもっと使ってみたかったので、留学先にドイツを選びました。私の留学先であるバンベルクは世界遺産にも登録されている町で、中世の街並みが今もそのまま残っています。歴史ある建造物が立ち並ぶ旧市街の中、教会に隣接する大学のキャンパスで授業を受けられたことをとても嬉しく感じました。ドイツは 9 月下旬から冬のように冷え込み、特に朝 8 時から始まる 1 限の時間帯は秋でも 4～5 度ほどしかないので、防寒対策を十分にすることをおすすめします。

私が暮らしていたのは、旧市街のユーデン通り 8 番地にある一人部屋の学生寮でした。建物は少し古かったものの、世界遺産の中で暮らすという貴重な体験は、バンベルクでしかできないことだと思います。バンベルクはビールでも有名で、歴史ある醸造所が数多くあります。寮の近くにあったクロスター醸造所は 1533 年から操業しており、地元の人々が多く集います。なお、ドイツのビールはぬるいというイメージを持つ人もいますが、私が留学中に飲んだビールはどれも冷えていて、とても美味しかったです。

バンベルクは自然も豊かで、ランニングをするのに最高の環境でした。6 月には大学が主催するマラソン大会に参加し、現地の学生たちと一緒に走ることで交流を深めることができました。授業では現地の学生も一緒に受ける講義を履修していましたが、最初は話すスピードの速さに圧倒されました。それでも通い続けるうちに耳が慣れ、徐々に理解できるようになっていきました。先生方も優しく、拙いドイツ語でも真剣に聞き取ろうとしてくださる姿勢が嬉しかったです。大学の外では、日本語を勉強したいドイツ人と交流できるボランティア活動にも参加しました。ドイツ語で日本語を説明するのは難しかったですが、とても良い練習になりました。活動のあとには丘の上のビアガーデンで、バンベルク名物の燻製ビールを飲みながら楽しくドイツ語で談笑するなど、素晴らしい思い出ができました。

バンベルクは、スマートフォンを落としても戻ってくるほど治安が良く、また世界遺産の町として本当に美しい場所です。落ち着いた雰囲気の中で、安心して勉強に集中することができます。ドイツ語を実際に使いながら学びたい人、静かで歴史ある町でじっくり留学生活を送りたい人、ビールが好きな人には、バンベルクは本当におすすめです。私にとって、この一年間は言葉だけでなく人とのつながりや文化への理解を深める貴重な時間となりました。